

**令和5年度 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟  
要望活動 議事録**

**1 日 時** 令和5年7月25日(火) 11:30~12:10

**2 場 所** 横須賀市役所1号館3階会議室A

**3 要 望 者** 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟

|     |        |       |
|-----|--------|-------|
| 会 長 | 横須賀市長  | 上地 克明 |
| 副会長 | 鎌倉市長   | 松尾 崇  |
| 副会長 | 逗子市長   | 桐ヶ谷 覚 |
| 副会長 | 葉山町長   | 山梨 崇仁 |
| 副会長 | 三浦市副市長 | 星野 拓吉 |

**4 対 応 者**

|                          |         |
|--------------------------|---------|
| 国土交通省 関東地方整備局横浜国道事務所長    | 宮本久仁彦 様 |
| 神奈川県 横須賀三浦地域県政総合センター所長   | 篠原 仙一 様 |
| 神奈川県 県土整備局道路部長           | 星名 隆 様  |
| 神奈川県 県土整備局道路部国道調整担当部長    | 瀬戸下伸介 様 |
| 神奈川県 横須賀土木事務所長           | 森尻 雅樹 様 |
| 神奈川県 県土整備局道路部道路企画課長      | 宇角 隆司 様 |
| 神奈川県 県土整備局道路部道路管理課長      | 小山 真生 様 |
| 神奈川県 県土整備局道路部道路整備課長      | 向原 浩和 様 |
| 神奈川県道路公社 理事長             | 田中 和久 様 |
| 東日本高速道路株式会社関東支社 副支社長     | 田中 潤一 様 |
| 東日本高速道路株式会社関東支社 京浜管理事務所長 | 松尾 周栄 様 |
| 東日本高速道路株式会社関東支社 横浜工事事務所長 | 川崎 健史 様 |

**5 事 務 局**

|                |       |
|----------------|-------|
| 横須賀市 建設部長      | 藤田 順一 |
| 横須賀市 建設部土木計画課長 | 岩城 光利 |

## 6 議事

【横須賀市建設部長】皆様、総会お疲れ様でした。

それでは、ただ今から、三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟の要望活動を始めさせていただきます。

あらためまして、当期成同盟幹事長の横須賀市建設部長の藤田でございます。よろしくお願いたします。

それでは、本日ご参加いただいている皆様をご紹介します。まず、本期成同盟の役員です。会長の上地克明 横須賀市長です。

【横須賀市長】よろしくお願いたします。

【横須賀市建設部長】副会長の松尾崇 鎌倉市長です。

【鎌倉市長】よろしくお願いたします。

【横須賀市建設部長】副会長の桐ヶ谷覚 逗子市長です。

【逗子市長】よろしくお願いたします。

【横須賀市建設部長】副会長の吉田英男 三浦市長代理の星野拓吉 副市長です。

【三浦市副市長】よろしくお願いたします。

【横須賀市建設部長】副会長の山梨崇仁 葉山町長です。

【葉山町長】よろしくお願いたします。

【横須賀市建設部長】続いて、要望先の皆様です。恐れ入りますが、時間の関係もありまして、前列の方のみのご紹介とさせていただきます。

国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長 宮本久仁彦 様。

【国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長】よろしくお願いたします。

【横須賀市建設部長】神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター所長 篠原仙一 様。

【神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター所長】よろしくお願いたします。

【横須賀市建設部長】神奈川県県土整備局道路部長 星名隆 様。

【神奈川県県土整備局道路部長】よろしくお願いたします。

【横須賀市建設部長】神奈川県県土整備局道路部国道調整担当部長 瀬戸下伸介 様。

【神奈川県県土整備局道路部国道調整担当部長】よろしくお願いたします。

【横須賀市建設部長】神奈川県道路公社理事長 田中和久 様。

【神奈川県道路公社理事長】よろしくお願いたします。

【横須賀市建設部長】東日本高速道路株式会社関東支社副支社長 田中潤一 様。

【東日本高速道路株式会社関東支社副支社長】よろしくお願いたします。

【横須賀市建設部長】 それでは、要望活動に移ります。お手元の要望書をご覧になってください。

まず、本期成同盟役員から、皆様に要望させていただきます。その後、要望先の皆様から関連する事項について、ご所見をいただきます。なお、時間が限られておりますので、要望書前文のご説明は割愛させていただき、要望書見開き右側に記載しております、『要望事項』の6項目のうち、各市町がそれぞれの立場から補足説明させていただきます。

それでは、上地 横須賀市長からお願いいたします。

【横須賀市長】 横須賀市長の上地でございます。

先程、東日本高速道路株式会社の川崎所長から圏央道の横浜環状南線についてご講演いただき、ありがとうございました。併せまして、総会にご列席いただきました、横浜国道事務所、神奈川県、神奈川県道路公社の皆様におかれましても、日頃から幹線道路整備の促進に多大なるご協力をいただいております、改めまして厚くお礼を申し上げます。

これまで新型コロナウイルスの影響により、要望活動については、オンラインにより実施させていただいておりましたが、こうして直接お話しできることを、大変うれしく思います。

それでは、本市からは、要望事項1と4と5について、述べさせていただきます。

まず、要望事項1です。高速横浜環状南線、横浜湘南道路は、県内東西方向の交通渋滞の緩和や、三浦半島地域における企業立地の促進、新たな観光需要の創出など、確実に地域経済に好循環をもたらすとともに、災害時の代替路の観点からも非常に重要な道路であります。

さらに、昨年も申し上げましたが、東京九州フェリーが就航したことで、横須賀港は本格的な物流拠点になりつつあります。

横須賀港へのアクセス道路でもあり、三浦半島の背骨でもある横浜横須賀道路に、圏央道が接続することは、半島に新たな玄関口ができることであり、物流と人流とを飛躍的に活性化するものと大いに期待しております。

三浦半島地域の多くの人や事業者が、一刻も早い接続を、待ち望んでおりますので、様々な制約もあることとは承知しておりますが、ぜひとも可及的速やかな早期の整備を、よろしくお願い申し上げます。

次に、要望事項4です。国道357号は予算をつけていただき、交差点改良工事、水路の付替え工事のほか、地質調査を行うなど、特段のご配慮をいただいております、まずはお礼を申し上げます。併せて、追浜駅前交通結節点整備事業においても、横須賀の北の拠点である追浜地区の、ひいては、横須賀市全体の経済の活性化に欠かせない社会基盤となります。つきましては、国道357号の都市計画決定区間の早期整備、及び南下延伸区間の早期具体化に向けて、進めていただくようお願い申し上げます。

最後に要望事項5です。現在、横浜横須賀道路の、横須賀パーキングエリア周辺におけるスマー

トインターチェンジ整備については、関係機関の皆様のご支援により、東日本高速道路株式会社様と共同で事業推進をさせていただいております。早期の整備に向けて引き続き、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

それぞれのプロジェクトの一刻も早い整備に向け、当然ながら地元の自治体としても知恵を出し、汗をかき、全力で取り組む所存です。

今後とも、関係機関の皆様との連携を深め、より一層のご支援とご協力をいただき、三浦半島地域の広域幹線道路整備を進めていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

私からは以上です。

**【横須賀市建設部長】** ありがとうございます。続きまして、松尾 鎌倉市長をお願いします。

**【鎌倉市長】** 鎌倉市長の松尾でございます。皆様におかれましては日頃から道路整備等に関しましてご尽力いただいておりますこと、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

鎌倉市は1番の高速横浜環状南線、横浜湘南道路の早期整備についてお願い申し上げます。

鎌倉地域内におきましては観光目的とした車両の他、地域内に目的地を持たない通過交通による慢性的な交通渋滞が発生しており、国土交通省が平成30年に実施した交通調査によりますと、鎌倉地域に流入する車両のうち約3割は通過交通との結果が示されています。

また、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に引き下げられる中、市内の交通量は流行前に近い水準に戻りつつあり、依然として交通渋滞が発生している状況です。

一方、地震被害や近年激甚化する異常気象による被害に対する支援物資等の供給道路としての役割など両路線が整備されることによるストック効果の発現が期待をされるところです。

以上のことから、冒頭申し上げますように、高速横浜環状南線、横浜湘南道路の早期整備につきまして、ご尽力賜りますようお願い申し上げます、鎌倉市の要望とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

**【横須賀市建設部長】** ありがとうございます。続きまして、桐ケ谷 逗子市長をお願いします。

**【逗子市長】** 逗子市長の桐ケ谷でございます。日ごろから、道路行政に大変ご協力をいただいておりますこと、心からお礼を申し上げます。よろしくお願いいたします。

逗子市の方からは、要望事項の2と3につきまして、お願いをさせていただきたいと思っております。

2番の三浦半島中央道路の整備につきましては、昨年度から神奈川県におかれまして地質調査を実施していただいております。今年度は環境影響評価を実施していただいております。実施主体の神奈川県の方々、この場をお借りしまして本当に心から感謝を申し上げます。

逗子市といたしましても、神奈川県そして葉山町と一体となって、本事業の必要性や工事の安全性についてご理解いただけるように努めてまいります。また、地元自治会からは、県道横須賀逗子線の逗子警察署入口交差点と東逗子駅入口交差点の交通渋滞が大変慢性化しているという指摘を受けております。この三浦半島中央道路の整備の際には、交差点の改良工事を行っていただくことになっておりまして、大変期待をしているところであります。よろしくお願い申し上げます。

また、次の3につきましては、ワンストップ型 ETC もしくは料金体系の見直し云々というのは承知をしておりますけれども、あえて逗子市としては、逗葉新道の無料化を要請、要望させていただいております。この理由を少し申し上げますと、これは平成 28 年 12 月に、逗子市議会から、神奈川県および神奈川県道路公社に対し、逗葉新道通行料金の無料化を求め意見書が提出されているところです。この内容につきましては、逗葉新道が有料であることから、利用者の多くが、逗子市内の一般道を迂回しております。そのために交通渋滞を引き起こしている一因にもなっているということが考えられております。また市内の交通渋滞を解消するためにも、中央道路の整備とあわせて逗葉新道の早期の無料化もぜひご検討いただきたいと考えているところです。

今後とも、よろしくお願いいたします。

**【横須賀市建設部長】** ありがとうございます。続きまして、星野 三浦市副市長お願いします。

**【星野副市長】** 三浦市副市長の星野でございます。日頃より、道路行政に多大なるご支援・ご協力を賜り、この場をお借りして感謝申し上げます。三浦市からは、要望事項 2 と 3 について、説明させていただきます。

まず要望事項 2 でございます。三浦縦貫道路Ⅱ期区間については、林インターチェンジから高円坊までの北側区間が、令和 2 年 8 月 10 日に開通いたしまして、未整備区間は約 2.5km となりました。

都市計画道路 西海岸線については、小網代湾の自然に配慮するための環境調査や橋梁形式の検討など、これまでにも、未整備区間の整備に向けて取り組んでいただいております。今年度からは、用地測量に着手していただくことになっております。

三浦縦貫道路と西海岸線は、2 路線全線がつながることにより、首都圏各都市と本市との交通アクセスを飛躍的に向上させ、地域経済の活性化はもとより、地震等災害時における緊急輸送道路の確保の観点からも絶大な効果をもたらすことから、一日も早い 2 路線全体の完成・供用が望まれております。

県の事業実施に向け、三浦市といたしましても地元調整など連携に努めてまいりますので、今後とも引き続きご尽力をお願いいたします。

次に要望事項 3 でございます。三浦縦貫道路等の通行料金につきましては、供用延長約 5 km に対して普通車 310 円であり、県内の他の有料道路と比べて、割高感がございます。つきましては、利

用者の視点に立った料金体系の見直しが必要だと考えておりますので、ぜひ、検討をお願いいたします。また、更なる利便性の向上のため、今年の3月15日から8月31日まで社会実験が行われているワンストップ型ETCにつきましても、早期の本格導入をお願いいたします。

広域幹線道路ネットワークの整備につきましては、長年にわたり、行政、議会、経済界が一致団結して、要望活動を続けさせていただいております。これまでも、関係各位の多大なるご支援・ご協力を賜っておりますが、より一層のお力添えをお願い申し上げまして、要望の説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

**【横須賀市建設部長】** ありがとうございます。続きまして、山梨 葉山町長お願いします。

**【葉山町長】** 葉山町長の山梨と申します。本当に皆様には大変お世話になっておりまして、私自身今回要望という形ではありますけども、皆様と同じ気持ちになって同じ方向を向いていただけると強く思っているところでございます。ですので、重ねてではありますけども、進捗を加速させたいという気持ちでぜひお聞きいただけたらと思います。

葉山町からは2番と3番と6番になります。桐ケ谷市長からもございましたけれども、三浦半島中央道路についてこれまで長年要望させていただいております、県の方でも着々と進めていただいていることも十分承知してございます。我々地域の自治体としても、確実に地域のことを含め、県のお力をいただきながら、推進できるように努めてまいりたいと考えております。

かねてから町道等を抜け道として利用されること、また県道311号線や国道134号線の渋滞につながっていることをお伝えする中で、一刻も早い開通をと考えております。葉山町としましても、昨年度までに3ヶ年かけましてイトーピア地域の町道整備をしており、一定の維持管理を進めてございますが、一刻も早く、事故が起きてから始まっては元も子もないという気持ちで、大型トラック等の車両をほぞを噛みながら見ているところです。トンネル開通による近隣地域の快適な道路事情について、ぜひお力添えをいただきたいということを改めて申し上げます。

続きまして3番になります。こちらにつきましても、桐ケ谷市長と同じように、基本的には無料化をベースとして長年要望させていただいておりますが、田中理事長の想いも、安西前理事長さんも、同じ気持ちでいたことは十分承知してございます。いろんな事情があることも承知してございますが、その中ではワンストップ型ETCならばというご回答をいただいたのもこの場でありました。であれば、ぜひワンストップ型でも進めていただきたいということを早期にお願いしたいと思っております。クレジットカード会社の事情等でいろいろ状況は聞いてございますので、その進捗を伺いながら、ぜひ昨年、一昨年と違う回答で、進んだ回答を期待しておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

最後6番になります。こちらは葉山町の道路事情、また、歩道を含めた非常に狭い状況について、

無電柱化をすることによる防災対策を、私たちは今一番に考えているところです。先ほども参与や来賓の方々のたくさんのお話でしたが、無電柱化による救助・救急関係、物流支援、人的支援、様々なものを考えますと、狭い国道、狭い県道、狭い町道がある葉山においては、大変重要な課題になってございます。緊急道路等を中心とした無電柱化について、ぜひお力添えをいただきたいと考えてございます。現在、県のみなさんとともに勉強会をさせていただいておりますので、私としましても、しっかりと財政的な面等を確保しながらでもありますが、無電柱化促進に力を尽くしてまいります。なお、こういった機会を通じて、私たちが、皆様が、財政的な面などの様々な全体要望の中で判断しなければいけないことも十分承知をしてございます。例えば、時には国土交通省や財務省などには、私たち地域の自治体によってできることが多々あると思っておりますので、冒頭申し上げた通り、ぜひ一緒になって課題を解決するという事で、私達の要望を、皆様から私達に対する要望もいただきながら、ともに課題、要望活動を形にできていけるように、ぜひ末永くよろしくお願いをしたいと、最後に重ねてお願いを申し上げます。

私からは以上でございます。

**【横須賀市建設部長】** ありがとうございます。以上が本期成同盟からの要望となります。

続きまして、要望についてご所見をお伺いしたいと存じます。はじめに、国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長 宮本様、お願いいたします。

**【国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長】** あらためましてこんにちは。横浜国道事務所の宮本です。日頃より道路行政、とりわけ横浜国道に対しまして、ご支援ご協力を賜っておりますこと、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

先ほどは熱い熱い大会、今ほども各首長さんから、地域の実情の声をお聞かせいただきまして本当にありがとうございます。事業者、いろいろありますけど、連携してやっていきたい気持ちには変わりがないと思っておりますので今後ともよろしくお願いたします。

それではお話いただいた中で、関連するものについてお話をさせていただければと思います。最初は必要性の話をしようと思っておりましたが、各首長さんから熱い言葉いただきましたので、その部分を飛ばさせていただいて、事業の進捗を中心にお話をさせていただければと思います。

最初は、高速横浜環状南線、横浜湘南道路についてであります。高速横浜環状南線は先ほど、川崎所長の方からご説明をさせていただきましたので、横浜湘南道路の方を中心にお話をさせていただければと思います。

横浜湘南道路の約8kmのうち約7割の区間がトンネル区間ということになっておりまして、そのトンネル、シールド工事を今、横浜国道の方で進めさせていただいております。これにつきましても2台のシールドマシンを使って掘り進めているという状況であります。最初に発進しました1号

機については、回転立坑までの2.7kmほど掘削を進めて、今、回転立坑にて、先ほど川崎所長の話の中でもマシンの回転のお話がありましたが、あれと同じような作業をさせていただいているところでもあります。しかしながらシールド1号機については過去に境川というところで支障物件に当たる等ありまして、かなりビットマシンが損傷を受けていることもわかってきておりますので、しっかりとこの回転立坑で点検をさせていただいて、残り区間をしっかりと安全に掘れるように、作業を進めさせていただいているのが1号機の状況であります。2号機の方につきましては、4年5月に初期掘進を終えて、段取り換えの準備が整ったことから、本年の6月19日から本掘進を始めさせていただいているところであります。一番初めの難関でありました住宅地の直下を今掘り進めているところであります。先ほど川崎所長の話の中にもありましたけど、やはり住宅地の真下でありますので、騒音振動等に十分配慮しながら、安全第一で工事を進めさせていただいているということでもあります。いずれにしても、シールドマシンを安全に進めていくことが、この開通に向けて一番重要なことだと思っておりますので、まずはこのシールド機を安全に進めることを第一に、進めてまいりますのでよろしくお願い致します。

その他の小雀地区とか、藤沢地区におきましても改良工事、橋梁工事を順次進め、1号線を通っていただくとわかるかと思っておりますけど工事を進めさせていただいているところであります。

いずれにいたしましても、先ほど地域の皆さんからの横浜湘南道路、高速横浜環状南線については、いろんな熱い言葉をいただいておりますので、東日本高速道路株式会社とも連携いたしまして1日も早い開通に向けて、安全第一で工事を進めてまいりたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い致します。

続いて、東京湾岸道路についてであります。この道路についても、羽田空港、京浜港、千葉港等々さらには大規模災害拠点等、東京湾岸部における物流、人流の効率化を図る極めて重要な道路であります。現在、事業をさせていただいている区間につきましては、先ほど市長さんからも状況ご説明いただきましたが、引き続き調査設計、さらには支障物件となる水路の移設など、地元の皆様とご協力いただきながら、事業を進めていけたらと思っておりますので、どうかよろしくお願い致します。南下延伸部については、周辺の交通状況、整備状況等、交通状況もしっかり勘案しまして、関係機関の皆さんと連携して進めていければと思っておりますので、よろしくお願い致します。

追浜駅前のターミナル整備についてであります。今年2月にデザインセンターをプレオープンという形でさせていただいております。横須賀市様には連携させていただいてありがとうございます。

現在は、国土交通省・横須賀市・京浜急行電鉄株式会社が連携し、3者共同により、追浜駅周辺まちづくりと一体となった検討を進めていき、計画を詰めていく作業しております。今後とも、計画の実現に向けて、連携していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(仮称)横須賀PAスマートインターについても、東日本高速道路株式会社とまとめていただいておりますけど、国土交通省としても地区協議会を通じ、しっかりと連携していければと思っております。



ますので、どうかよろしく申し上げます。

最後になりますが、地域の皆様としっかり連携して、一つ一つの事業をしっかりと進めてまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしく申し上げます。私からは以上です。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、神奈川県県土整備局道路部長 星名様、お願いいたします。

【神奈川県県土整備局道路部長】あらためまして星名でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

日ごろから県の道路行政に多大なるご理解ご了承ご協力いただき、この場をお借りしまして、改めてお礼を申し上げます。また本日は、三浦半島の道路の整備につきまして、直接生の声を聞くことができました。大変感謝申し上げます。ありがとうございます。

私からは県管理道路に関わりますご要望事項につきまして、順次回答させていただきます。

まずは三浦半島中央道路についてでございます。北側区間の約1kmのトンネル区間でございますけれども、かねてからご承知の通り、事業に対する反対が根強い地区がございまして、現地調査などに入れない状況が続いております。こうした中で、葉山町さんのご協力をいただきまして、一昨年の令和3年7月でございますが、オープンハウス形式の相談会を開催いたしまして、地域の方々のご意向を改めて確認することができました。オープンハウスでは、事業に賛成する声上がる一方で、地盤沈下であったり、それから騒音振動といった生活環境の悪化を懸念する声が寄せられました。そこで、こうした懸念にお答えするために、これまで地質調査やトンネルの設計を進めてまいりました。また、現在は、トンネル構造が自然環境や生活環境に与える影響を予測、評価するための環境調査を実施しているところでございます。今後につきましては、この調査の進捗状況につきまして、地域の方々に周知をしていきたいと考えておりますので、その際には、皆様にまたご相談申し上げますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

また、逗子警察署入口交差点などのお話もいただいております。こちらにつきましては改善に向けた検討、それから交通管理者との協議を進めております。この結果につきましても、やはり地域の方々に丁寧に説明いたしまして、事業に対するご理解をいただけるよう取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

それと、三浦半島中央道路の南側区間でございますけれども、ご承知の通り、現在、三浦半島地域におきましては、都市計画道路の安浦下浦線の事業を重点的に進めているところでございます。

そんな中におきまして、西海岸線や三浦縦貫道路Ⅱ期、それと、この三浦半島中央道路もそれぞれ対応しており、この区間の対応につきましては、発生土の処分場の埋め立て完了時期を見据えながら対応していきたいと考えております。どうぞよろしく申し上げます。

続きまして三浦縦貫道路と西海岸線でございます。副市長のお話もございました通り、両路線は一体となって、三浦市の南北地区を形成をいたします。渋滞の緩和、それから観光振興など地域経済の活性化に寄与する大変重要な道路であると認識をしております。三浦縦貫道路の北側区間に続く南側区間につきましては、早期整備に資するよう、令和3年度から橋梁区間を短くするなど、縦断線形の精査を行っております、事務レベルで市道の付替えや交差方式の調整などをさせていただいているところでございます。今年度につきましては、橋梁の予備設計や地質調査を行ってまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

次に西海岸線でございます。西海岸線につきましては豊かな自然が残る小網代湾を大規模な橋梁で跨ぐものがありますので、自然環境の保全と優れた景観の形成に十分に配慮する計画とすることが重要であり、さらに、地域の方々のご理解をしっかりと得ていく必要があると考えております。

そこで、これまで、大気や動植物などの周辺の環境調査を実施するとともに、専門家のご意見をお伺いしながら、橋梁の比較設計などの検討を進めてまいりました。今年度につきましては、西海岸線の整備が自然環境、景観へ与える影響などを予測、評価するとともに、専門家の意見や地元の意向も踏まえながら、道路や橋梁の詳細な設計に進めてまいります。併せまして年度内には、用地の取得に向けた測量に着手したいと考えておりますので、引き続き、地元調整などの協力をよろしくお願いいたします。

それから町長さんの方から無電柱化についてお話がございました。ご承知の通り、道路の無電柱化につきましては、「防災」、「安全、円滑な交通の確保」、「景観の形成」の三つの観点から重要な事業であるという認識をしております。しかしながら、電線類を埋設するためには、ある程度の広い歩道がないと行うことができないというところが課題でございまして、葉山町の県管理道路につきましては、歩道がない、もしくは歩道の幅が狭いという状況でございます。町長からお話があった通り、今、町と一緒に、昨年度から勉強会を行わせていただき、葉山町の実態に合った形で、現実的にどのようなことができるのか、検討を進めております。具体的には、小型の共同溝などの新技術につきましまして、情報共有を図るとともに、歩道が連続していない箇所では、この新技術の共同溝を車道の下に埋設することが可能かどうか、検討を進めているところでございます。今年度につきましては、こういった新技術の実現可能性につきましまして、電線管理者のご協力も得ながら検討しているところでございます。引き続き、町とともに、狭い歩道における無電柱化の実現方策について、検討を深めてまいりたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それから道路ネットワークの関係の予算の関係でございます。やはりしっかりと予算がないと、この道路整備を進めることができないと認識をしております。県におきましても副知事からお話がありましたが、昨年度、水防災戦略を改定させていただきまして、道路斜面の土砂崩落対策など道路防災対策にも取り組んでいるところですが、やはり十分な予算が必要であり、県としましても、道路整備の効果や必要性をしっかりとアピールいたしまして、公共事業の予算確保に向けて、強く

働きかけをしているところでございます。今年、5月17日でございますけれども、命と暮らしを守る道づくり全国大会では、横須賀市長、三浦市長それから葉山町長にご参加をいただき、感謝申し上げます。引き続き、道路予算の十分な確保につきまして、県内市町と連携をいたしまして、強く働きかけたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますけれども、地元の皆様と一緒にしまして、様々な課題を解決して、この三浦半島地域の活性化のために、道路の整備、推進をしっかりと行ってまいりたいと思っておりますので、引き続き、ご協力の方よろしくお願いいたします。

私からは以上でございます。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、神奈川県道路公社理事長 田中和久様、お願いいたします。

【神奈川県道路公社理事長】日頃から神奈川県道路公社の事業にご支援いただきまして大変ありがとうございます。

道路公社の要望事項3につきまして回答します。

まずワンストップ型 ETC の早期導入についてでございます。今年の3月から三浦縦貫道路において事前登録し、ETC カード通行社会実験を行っており、その期間を8月31日まで延長したところでございます。カード会社の参画がまだ少ないこともあり、ワンストップ型 ETC の登録者の通行割合は多くありませんが、これまで約2万台の車が通行し、一旦停止に伴う追突事故等はなく、安全性が確保され、また機器が適正に稼働することも確認してございます。本格実施に向けては、先ほど山梨町長からお話があった通り、利用可能な ETC カードを増やすことが最大の課題であり、先月も全国地方道路公社連絡協議会の場で、本県から国へ、国としてもカード会社の参画について働きかけを行うよう要望しました。現在具体的に準備をしているカード会社もございますので、今後とも、県と協力して、さらに参画をお願いしてまいります。

また、逗葉新道への導入についても、設置の予算は確保していますが、料金所施設の構造から、ETC 設備の設置に課題があります。現在材料や工法を検討しているところでございまして、できるだけ早期に導入できるよう目指してまいります。

次に料金体系の見直し引き下げについてでございます。三浦縦貫道路は料金収入で建設費用や維持管理費用を賄うということで国の許可を得ていますが、Ⅱ期の北側区間が開通し、交通量は増加したものの、計画交通量の4割程度であり、収入面では厳しい状況が続いております。また、逗葉新道は道路公社が自己資金により建設した一般自動車道であり、無料開放を前提としたものではなく道路公社の経営する道路である一方で、供用開始後から53年が経過しており、道路施設の老朽化対策や今後起こりうる大雨等による自然災害に対する備えも自己資金で賄う必要がございます。

こうしたことからご要望の料金体系の見直しにつきましては、国の許可等を要する事項でもあり、現在の経営環境の中では難しい状況にあります。地域と連携した利用促進への取り組みをさらに進め、今後とも、経営改善を図ってまいります。また、お話がありました逗葉新道の無料化については、県は「今後、三浦半島中央道路の北側区間が開通すると、逗葉新道の役割も変わってくると考えるため、そうした時期を目処に、無料化について、公社や地元市町との調整に取り組んでいきます。」としており、公社としても、その時点で様々な観点から検討し、県と調整をさせていただきます。

以上でございます。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、東日本高速道路株式会社関東支社 副支社長 田中潤一様、お願いいたします。

【東日本高速道路株式会社関東支社副支社長】日頃より NEXCO の高速道路事業にご協力をしていただきまして誠にありがとうございます。

私どもの関連する事業につきまして、各要望十分理解いたしましたし、また丁寧なご説明に改めてその重要性を認識した次第でございます。たくさんのお事業をしておりますけれども、精一杯、頑張っていきたいと思っております。本日、その中でも具体的な進捗についてご説明したいと思います。

先ほど横浜工事事務所の川崎の方から、高速横浜環状南線につきまして非常にわかりやすい説明があったと思っておりますが、改めて、私の方からは今の進捗についてご説明します。

先ほど2機のシールドというご説明がありましたが、片側路線は既に掘削が完了しており、残りの片側路線を2機のシールドで掘り始める準備をしているところでございます。着実に事業を進めておりますが、地上の写真を見てもわかりますとおり非常に住宅が密集しておりまして、かつて、住民の皆様からは、特に地表面の沈下に対する懸念の声が多く上がっておりました。ですので、沈下の少ないシールドマシンを採用しておりますが、実際掘ってみますと非常に岩盤が厚く、且つ硬いため、音や振動がかなり出ているということで、そういったものを削減する意味からも、掘進速度を落とせば音や振動が止むということで、安全面や環境面に十分配慮していることから、まだ開通年度については見通せない状況ではございますけれども、鋭意頑張ってお進捗していきたく思っておりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、ご要望にありました横須賀PAのスマートインターチェンジ工事でございますが、これにつきましては、弊社の横浜工事事務所のメンバーも地区協議会に参画しており、皆様と色々な情報を得ながら進めてございますので、時期がきましたら我々も精一杯、事業を進めてまいりたいと思っておりますのでこれも引き続きよろしくお願いいたします。

最後に、事業とは関係ございませんが、先月頭に逗子インターのランプウェイで雨による路面の

隆起がありまして、1日通行止めさせていただきました。ご迷惑おかけいたしました。お詫びいたします。現在の状況でございますが、当日は雨の降り方が激しく、地下の水位が上昇し、かなり圧が上がったため隆起した状況ですが、今、応急復旧はしてございますけれども、恒久的な対応ということで、水抜きボーリング等、調査をしながら検討しているところでございまして、皆様にご迷惑をかけないように路面の補修を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

最後になりますけれども、引き続き我々頑張っておりますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。以上でございます。

**【横須賀市建設部長】**皆様ありがとうございました。本日は、当期成同盟の要望活動にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。今後も、三浦半島地域の広域幹線道路の整備促進につきまして、さらなるご支援をくださいますよう、お願い申し上げます。

以上をもちまして、要望活動を終了いたします。ありがとうございました。